



評価のポイント

CL-2.看護実践能力：ケアする力

【38-2】せん妄：せん妄の基本的病態生理と回復への援助

今回提示されたせん妄の症例に対する介入を振り返り、そのポイントや問題点を挙げてください。

症例は高齢、高血圧、ベンゾジアゼピンの内服、せん妄の既往の可能性、手術を予定しており、せん妄のリスクが高い症例であった。せん妄の発症リスクが高い症例であったが、せん妄発生時の対応は事前に検討されている様子はなく、不眠時にゾルピデム内服の指示が出ていたことから、医療チーム（医師と看護師間）での情報の共有はされていない状況と考えられた。術後から過活動型のせん妄のものと思われる症状が出現していたが、せん妄のアセスメントツールを使用していないため、せん妄の判断が遅くなったと考えられる。そのため有害事象（点滴ルートでの抜去）が発生した可能性がある。せん妄の要因の同定、要因への介入は適切に行えたと考えられる。せん妄発症後は多職種が介入し、せん妄への介入を行っていた。